

2月定例記者会見要旨

まず初めに「図書館員と保健師が薦める絵本リスト」についての情報です。現在、当市では、赤ちゃんの3～4か月児健康診査で絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」などを通して、子育て期における読書推進をしておりますが、この度、新たにパンフレット『赤ちゃんがうまれる前に』を作成し、お子さんの誕生を控えたお父さん・お母さん、いわゆる「プレパパ・プレママ」の皆さんにお渡しすることになりました。

パンフレットは母子健康手帳の配布に合わせて差し上げる予定で、内容は図書館司書と保健師が議論を重ねて“赤ちゃんを迎える家族みんなに関わる本”、“生まれたばかりの赤ちゃんとすぐに楽しめる本”など10作品を厳選して紹介しています。

プレパパ・プレママへの読書啓発は、平成29年3月に策定した「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第三次）」の施策の一つでもあり、1冊の絵本から「家族の笑顔」が広がり、そして「身近に本がある暮らし」が広がっていくものと期待しています。

続きまして3月4日に開催いたします「第200回記念まいんバザール」についての情報でございます。

「まいんバザール」は中心市街地活性化対策として、龍ヶ崎市商工会が平成13年7月から毎月第一日曜日に開催しているものですが、この3月にちょうど200回目を迎えますことから、記念イベントとして盛大に開催するものです。

市内飲食店等による物産販売や採れたて新鮮野菜販売をはじめ、市内大徳町産「たっしゅかいちご」や、太子町豊田りんご園の「アップルパイ」が特別出店するほか、昨年10月、荒天のため中止となりました「第2回茨城県ご当地コロッケ横丁」に出店を予定しておりました県内ご当地コロッケ4店

舗とコロッケクラブ龍ヶ崎加盟店5店舗による「コロッケ横丁」を開催いたします。

ぜひ多くの皆様にご来場いただいて、コロッケをはじめ当市の人気グルメをご賞味いただければと考えております。

最後に「龍ヶ崎トマトの出荷開始」についての情報です。

龍ヶ崎市ブランド農産物認定制度第1号の龍ヶ崎市が誇る農産品“龍ヶ崎トマト”の出荷が今年もいよいよスタートいたします。

現在生産されている龍ヶ崎トマトは、JA竜ヶ崎施設園芸部会が栽培するレディーファーストトマトという品種で、皮が薄く果肉が多くゼリー部分が適度なため、甘さと旨みと酸味が絶妙なバランスで調和し、濃厚かつ深い味わいが特長です。

ファーストという名のとおり、原種に近く、トマト本来の味がすることからトマト嫌いな子供たちからも、「このトマトなら食べられる」という声が寄せられており、現在、10名の限られた熟練生産者たちが「未来の子供たちに伝えたい」という想いで、龍ヶ崎トマトを生産し、その味を守り続けています。

出荷を迎えるにあたり同部会では、2月16日に出荷先の東京都中央卸売市場、水戸市公設地方卸売市場の担当者を招いて「目揃え会」を開催し、現在の出荷基準を確認し、最高の状態で市場に出荷・販売できるよう準備を整えました。今年は気温の低い日が続いた影響で、例年より実は小ぶりながらも糖度が高く味は良いとのことで、出荷量も例年並みの安定した量が市場に出回る見込みだとのことです。

まもなく市内スーパーの店頭などにも、ひとつひとつ丹精を込めて育てられた龍ヶ崎トマトが並ぶと思いますので、市民の皆さんもぜひお買い求めいただき、その「甘さと旨みと酸味の絶妙なバランス」をご賞味ください。